

2024年
9月号

ニュースレター



夏休みが終わり...

夏休みが終わり、2学期が始まりました。11時からAngeに通う保護者の皆さんは、お弁当のご協力をありがとうございました。また、お昼から通う方はお昼ご飯の準備等お疲れ様でした。学校が始まると給食に感謝しかないと思います。

さて、夏休み私たち職員は研修に通いました。(どうしても、大きな研修会は夏休みが多いです...) 奈良で行われた『全国障害者問題研究会(以下全障研)』の全国大会と、私は静岡で行われた『“人間と性”教育研究協議会(以下性協教)』の全国大会において、Angeの性教育を発表してきました。

全障研に参加した職員は7名で、今年は5年ぶりの対面の大会に1200名以上が集まったそうで、対面初参加の7名です。初日は記念講演の池添先生の話に深く傾き、講演が終わるとその先生にふらっとすれ違うこともあり、若い職員はいつもzoom越しで拝見している先生が身近にいることにワクワクしたそうです。次の日は障がい児の療育/保育の分科会に参加し、保育園や療育施設での実践を聞き、研究者からの助言や子どもの姿の捉え方を学んできました。分科会では保育園に通いながらスポット的に児童発達支援を利用する場合、保育と療育の連携の課題なども提起されたそうで、興味深く感想を聞かせてもらいました。これは放課後等デイサービスにおいても同じことが言えると思います。たくさんの事業所それぞれに、特色やメリットがあります。いっぽう、それを複数同時に使うことが子どもにとってどうなるか?ということや、そのサービス(特色)を選ぶ数や組み合わせは保護者の自己責任になるという仕組みもしっかり考えて行かなければいけないところだと思います。(もちろん、相談支援員と相談することも可能ですが、相談支援員は発達のスペシャリストではありませんので、その辺りのアドバイスは専門でないかもしれません。)

私は所属している性教協の障害児者サークルから発表しました。(詳しくはFacebookの8月21日をご覧ください)会場に行くといつも壇上でお話しされている著名な先生方が私の実践を聞きに来られており、会場に座っていました。中には『おうち性教育始めませんか』の書籍を書かれた村瀬幸浩先生もいらっしゃり、過去一番緊張しました。しかし、仲間からは「実践がしっかりしているから、安心して聞けたよ」と言ってもらいホッとしました。通常学級での性教育もまだまだ進んでいない中、障がいのある子どもたちへの包括的性教育が保障されている事は、これからやろうと思っている人たちを勇気付ける事にもなると、コーディネーターを務めた琉球大の村末勇介先生にも評価していただきました。全国大会に参加した職員が、「同じ子どもの見方、考え方で話せる仲間がいて、とても心地よかった。」と、話してくれました。子どもの行動を手っ取り早く変えようとする療育に目を向けられがちな昨今、子どもが変わっていく過程を大切にできる実践は時間がかかるが故に嫌厭されがちです。しかし、子どもを大人の力で変えてしまうと、それは子どもの願いや権利を阻害している事にもなりかねません。これからも、子どもの願いや育ちを大切にしながら、楽しんで療育をしようと改めて思いました。

郡 奈美

夏祭り



研修実施予定! 申し込み受付中!

10/17(木) お金や契約等の
トラブルについて

講師: 前田 道利氏 (司法書士法教育ネットワーク会 会長)

買い物や携帯のゲーム課金などはすべて契約で成り立っています。その契約について、どこまで子ども達が理解できているか? わかりやすく子ども達に法教育している司法書士さんのお話しです。

※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所: Ange (服部) 又は zoom

■時間: AM10:00~

■参加費: Ange 保護者 500円

外部の方 1000円 / 1名

■申し込み・お問合せ: [TEL] (06) 6151-2996

[Mail] nakagawa@tokuyo.me 担当: 中川

申し込み QR



8月28日29日の二日間、各事業所で夏祭りを行いました。まずはシューティングとカオナシの当て。2つとも夏祭り以前から各事業所で楽しんでた遊びです。スーパーボールを転がして缶の的を倒すシューティング。最初は転がすだけでたくさんの缶を倒せなかったのですが、発射台を調整したり、ボールの行く先を目で追ったりするようになり、当日はパーフェクトを出す子もいました。また、それぞれの遊びで上位3名には賞状があり、表彰される時に笑顔で受け取る子、受け取った後、手に持ってずっと賞状を見つめている子もいて、うれしい気持ちで伝わってきました。また持って帰った賞状を自分から出して家族に見せてくれましたというお話も伺いました。そして今年の醍醐味は取り放題のおやつキャッチ。おやつにペーパーの芯がついており、そこに新聞の棒を通しておやつを取ります。たくさんのおやつが出てくると、もう待ちきれない様子で目をキラキラさせる子どもたち。それぞれが好きなおやつを狙い、時々手が伸びてくることはあったものの、上手におやつをゲットしていました。とったおやつは手作りの夏祭りバックにたくさん詰めて帰りました。台風の影響もあり規模は縮小しましたが、子どもたちの笑顔はたくさん見られた夏祭りでした。